

2024年8月23日

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明 様

フクシマ原発労働者相談センター
代 表 狩野 光昭 公印省略

東京電力福島第一原子力発電所2号機燃料デブリ取り出し作業中断の原因究明 と再発防止の要請書

東京電力は8月22日、福島第一原子力発電所2号機燃料デブリ取り出し作業を中断すると発表した。

燃料デブリを取り出す「釣りざお式装置」のパイプの順番が誤っていることが判明し、作業を中断したとのこと。

東京電力は、原因究明及び再発防止に向けた作業手順の確認を行い、次回の再開時期については見通しがたっていないとの見解。

2023年10月30日の増設ALPS洗浄作業における下請け労働者の高濃度汚染事故。2024年2月15日の高温焼却炉東側側面の配管からの汚染水漏洩事故も発生。2024年4月24日、発電所内構内配線ケーブル切断に伴う電源A系統停止と作業員の負傷事故が相次いでいる。

今回も、作業員が格納容器の外側から挿入するパイプの順番が間違っていたことに気づき、作業を中断したとのこと。

私たちは、その都度、東京電力に対して原因究明と事故防止に向け、元請及び下請労働者の労働安全対策の徹底とともに、労働条件の向上及び多重下請け構造の解消を訴えてきたが、実現されていないのが現状である。

今回も、単純ミス、不注意に終わらせることなく、作業全体の管理体制の見直しなど、廃炉作業等の抜本的改善を行うことが必要となっている。

よって、以下の項目について要請をするので、東京電力の見解を文書で明らかにされたい。

記

1. 作業中断の原因究明と再発防止について明らかにすること。
2. 東京電力福島第一原発の廃炉作業等の多重下請構造の見直しを図ること。

以上